

決算説明会

2009年9月期決算

2009年11月10日

代表取締役社長 今井 博文

 富士製薬工業株式会社

FujiPharma

【目次】

- (1) 会社情報 → P. 2
- (2) 決算概要 → P. 3～6
- (3) 次期業績見通し → P. 6
- (4) 中期経営計画 → P. 7～11

(1) 会社情報

【富士製薬工業の経営理念】

富士製薬工業の土台となる基本的な指針、存在意義を示すもの

■優れた医薬品を通じて人々の健やかな生活に貢献する

人々の生命に関与する誇り、人々に尽くす喜びと幸せ、人々へのありがたい・感謝の気持ちを大切にしています。

■富士製薬工業の成長はわたしたちの成長に正比例する

会社活動を通じて、人間的な成長、リーダーの育成、自己成長の機会の充実に努めています。

【わたしたちのミッション】

経営理念に基づくわたしたちの約束、大切にしている考えと想い

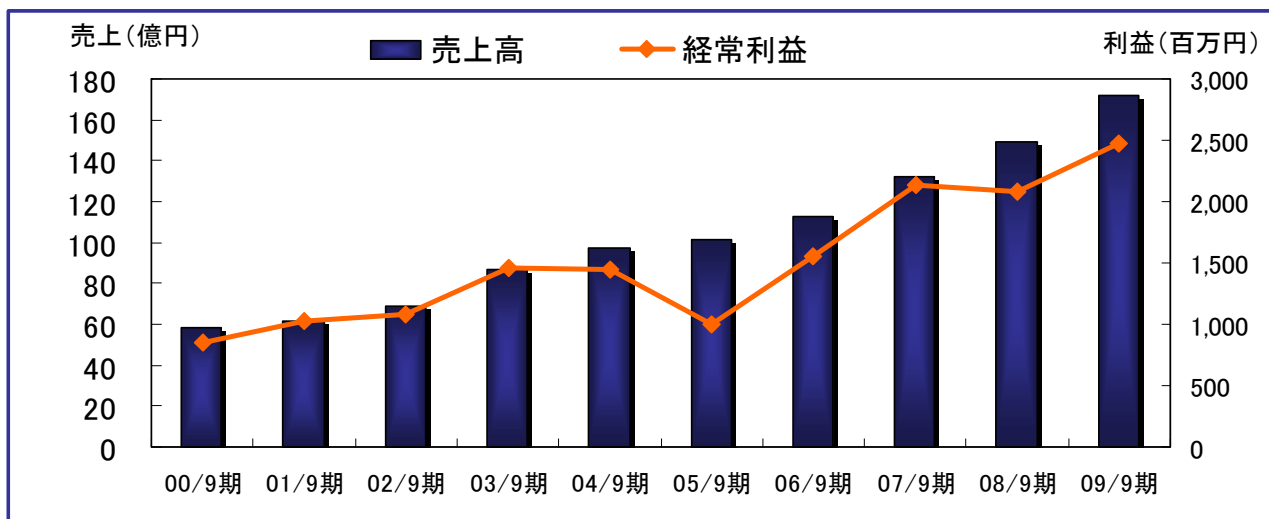
存在意義： 人々の痛みや障害の改善・克服に役立つ医薬品の開発、製造、販売を通して医療に貢献します。

顧客志向： お客様の立場を貫き、お客様と共に新たな価値を創る、お客様と相乗的に発展します。

人材育成： フェアでオープンな風土、学習と人間的成長、自己成長の機会、みんなの満足を尊重します。

経営方針： 自社の強み、特定の領域、勝てる戦いに集中し、独自の企業価値の持続的向上に努めます。

過去10年間の業績推移



薬価引下率	00/9期	01/9期	02/9期	03/9期	04/9期	05/9期	06/9期	07/9期	08/9期	09/9期
業界平均	▲7.0%	—	▲6.3%	—	▲4.2%	—	▲6.7%	—	▲5.2%	—
当社	▲11.0%	—	▲15.0%	—	▲7.2%	—	▲7.0%	—	▲5.8%	—

期末社員数	242	259	277	305	323	352	372	405	434	457
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(2) 2009年9月期決算概要

I. 貸借対照表

(単位:百万円)

項目		09/9期	前期末増減	増減の主な内容
資産	現金同等物	2,868	▲ 112	期間3ヶ月超の定期預金含む
	その他流動資産	12,230	1,999	売上債権、在庫の増加
	有形固定資産	4,930	687	錠剤棟増強、新注射剤棟建設仮勘定
	その他固定資産	2,833	▲ 66	販売権償却
	資産合計	22,862	2,507	
負債・純資産	流動負債	5,852	1,213	仕入債務、未払法人税の増加
	固定負債	789	44	
	負債合計	6,641	1,258	
	純資産	16,221	1,249	利益の増加
	負債純資産合計	22,862	2,507	



II. 損益計算書

(単位:百万円)

(参考)

科目	09/9期		前期比増減		08/9期	構成比	07/9期	構成比
	実績	構成比	額	率				
売上高	17,198	100.0%	2,261	15.1%	14,937	100.0%	13,250	100.0%
売上総利益	7,795	45.3%	1,326	20.5%	6,469	43.3%	5,953	44.9%
販売費及び一般管理費	5,333	31.0%	930	21.1%	4,403	29.4%	3,850	29.0%
(内、研究開発費)	918	5.3%	293	46.9%	625	4.2%	686	5.2%
営業利益	2,462	14.3%	396	19.2%	2,066	13.8%	2,103	15.9%
営業外損益	15	0.1%	▲ 5	▲26.0%	21	0.1%	26	0.2%
経常利益	2,477	14.4%	390	18.7%	2,086	14.0%	2,129	16.1%
特別損益	▲ 8	0.0%	48	▲85.5%	▲ 56	0.4%	▲ 140	1.1%
税引前当期純利益	2,469	14.4%	439	21.6%	2,030	13.6%	1,988	15.0%
税金等	943	5.5%	165	21.2%	778	5.2%	795	6.0%
当期純利益	1,525	8.9%	274	21.9%	1,251	8.4%	1,193	9.0%

<09年5月時点の業績予想>

売上高 17,000百万円 … 約200百万円増加
 経常利益 2,310百万円 … 約150百万円増加
 当期純利益 1,360百万円 … 約170百万円増加

<指標>

	09年9月期	5月時点計画
ROE(当期利益)	9.8%	8.80%
ROA(経常利益)	11.50%	11.00%
EPS	118.57円	105.67円

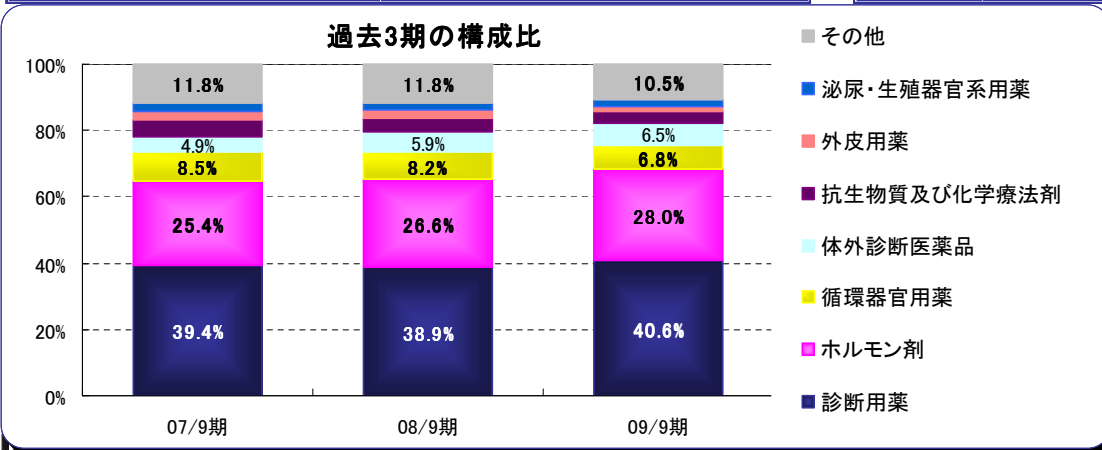


Ⅲ. 薬効分類別売上実績

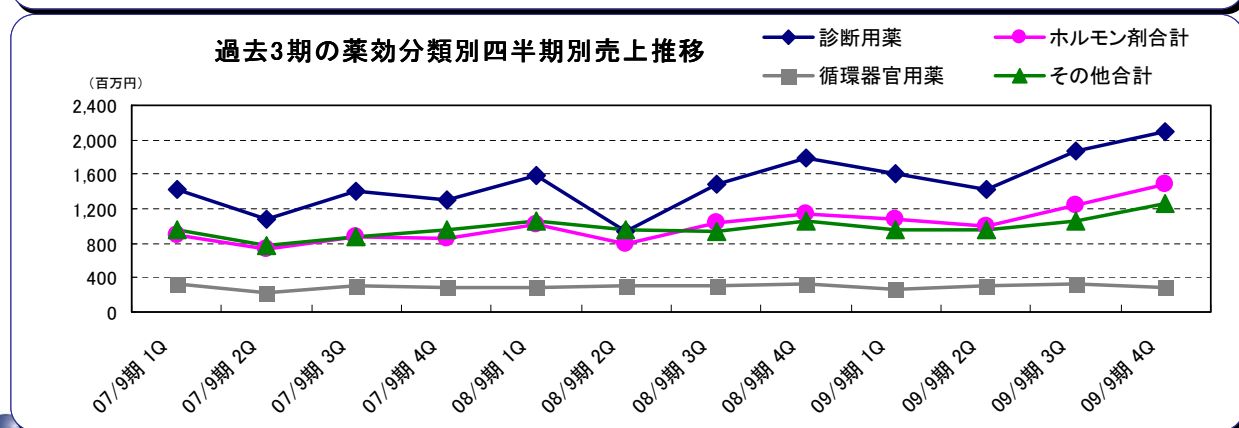
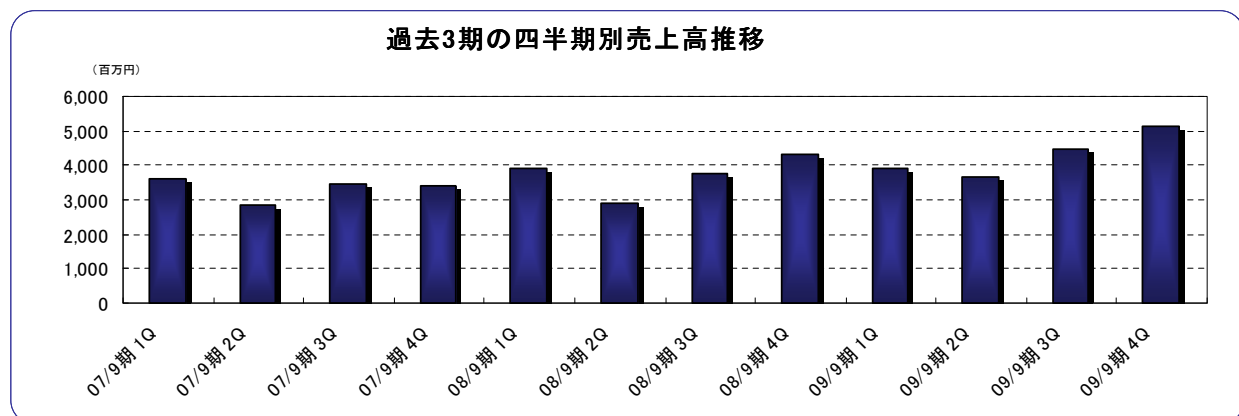
(単位:百万円)

(参考)

区 分	09年9月期	前期比増減		08/9期	07/9期
	売上高	額	率	売上高	売上高
診 断 用 薬	6,983	1,180	20.3%	5,803	5,215
ホ ル モ ン 剤	4,815	841	21.2%	3,973	3,360
循 環 器 官 用 薬	1,161	▲ 69	▲5.6%	1,231	1,132
体 外 診 断 医 薬 品	1,124	250	28.7%	873	643
抗 生 物 質 及 び 化 学 療 法 剤	646	11	1.9%	634	638
外 皮 用 薬	288	▲ 41	▲12.5%	329	398
泌 尿 ・ 生 殖 器 官 系 用 薬	364	31	9.6%	332	304
そ の 他	1,814	55	3.2%	1,758	1,557
合 計	17,198	2,261	15.1%	14,937	13,250



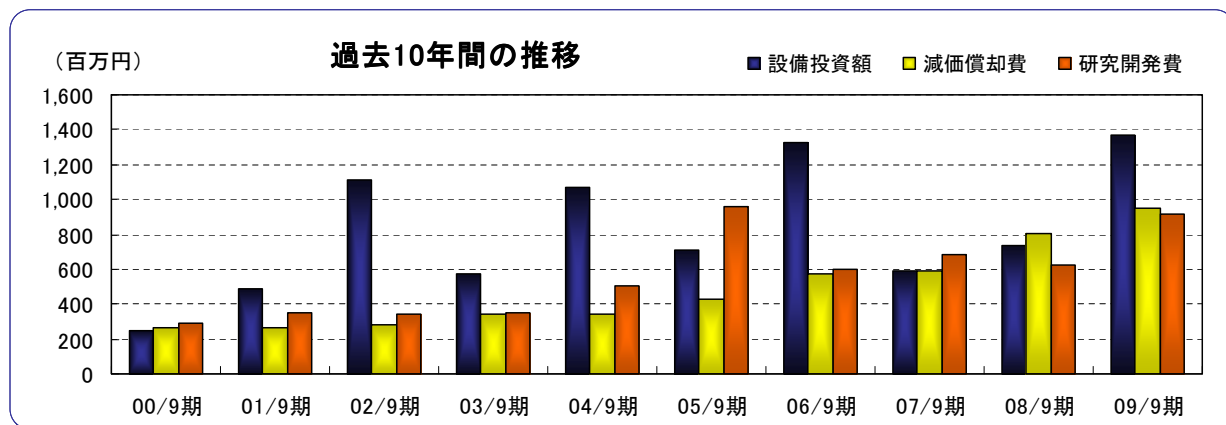
Ⅳ. 四半期ごとの売上実績等



V. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位: 百万円)

項目	09年9月期	前期比増減		主な内容
	実績	額	率	
設備投資額	1,372	638	87.0%	錠剤棟能力増強、新注射剤棟建設仮勘定
減価償却費	952	149	18.6%	無形固定資産の償却分含む
研究開発費	918	293	46.9%	バイオ後続品開発



VI. キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

(参考)

	09年9月期	前期比増減	08/9期	07/9期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】税引前当期純利益	2,469	439	2,030	1,988
減価償却費	952	149	803	587
売上債権の増加額	▲ 1,237	▲ 398	▲ 839	▲ 519
棚卸資産の増加額	▲ 648	▲ 484	▲ 163	▲ 588
仕入債務の増加額	864	608	255	542
法人税等の支払額	▲ 739	259	▲ 999	▲ 702
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,816	864	952	1,659
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】有形固定資産の取得等による支出	▲ 1,288	▲ 631	▲ 656	▲ 476
無形固定資産の取得等による支出	▲ 458	468	▲ 926	▲ 3
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,859	▲ 527	▲ 1,331	▲ 94
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】配当金の支払額	▲ 270	12	▲ 283	▲ 179
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 270	12	▲ 283	▲ 179
IV 現金及び現金同等物の増加額	▲ 312	349	▲ 662	1,385
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,981	▲ 662	3,643	2,258
VI 現金及び現金同等物の期末残高	2,668	▲ 312	2,981	3,643



VII. 1株当たり指標と配当性向

1株当たりの指標

項目	09年9月期
当期純利益	118円57銭
配当金	24円
純資産	1,260円42銭

(参考)

	08/9期	07/9期
当期純利益	97.26円	92.74円
配当金	20円	19円
純資産	1163.31円	1088.48円

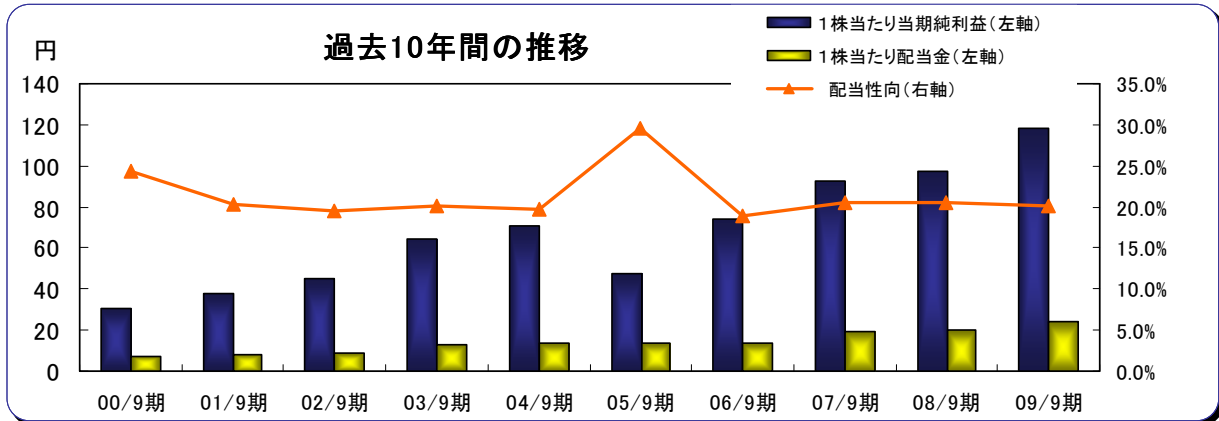
(注) 期中平均株式数及び期末株式数は、自己株式数を控除した株式数。

配当性向

決算期	09年9月期
配当性向	20.2%

(参考)

	08/9期	07/9期
配当性向	20.6%	20.5%



(3) 2010年9月期業績予想

(単位: 百万円)

項目	2010年 9月期	前期比増減	
		額	率
売上高	19,100	1,902	11.1%
経常利益	2,740	262	10.6%
当期純利益	1,680	155	10.1%
ROE (当期利益)	10.00%	-	-
ROA (経常利益)	11.60%	-	-
EPS	130.54円	11.97円	6.7%
研究開発費	1,419	500	54.4%
設備投資額	1,977	605	44.1%
減価償却費	1,037	84	8.9%

主なピックアップ

- 2010年4月薬価改定の影響
- DPC病院の増加に伴う造影剤等注射剤の拡大
- 女性医療向けホルモン製剤の維持・拡大
- 製造量増加による製造原価押下げ効果
- 造影剤原薬費の低減効果
- バイオ後続品開発本格化並びに新戦略品開発拡充
- 新注射剤棟(高活性医薬品、プレフィルドシリンジ製剤)建築開始
- 新中期経営計画スタート



46-50期中期経営計画

FujiPharma

▽中期経営計画のテーマ

『GOOD TO GREAT』

＝永続的な成長企業へ＝

- GOODな『今井商店』から GREATな『Fuji Pharma』へ
- GOODな『仲良しクラブ』から GREATな『プロ組織』へ
- GOODな『まじめ社員』から GREATな『戦略スタッフ』へ

会社、組織、個人が
GOODからGREATに転換して
永続的な成長企業を目指します。

▽基本方針

■新たな注射剤を軸に重点疾患領域を拡大する。

- がんの検査/造影剤から治療への展開
- D&D、DDS、バイオ事業などの立ち上げ

■女性医療のリーディング・カンパニーを確立する。

- 産婦人科ホルモン療法の全てをサポート
- 戦略品：低用量ピルでプレゼンスの確立

■次の半世紀へ向け新たな経営体制を構築する。

- 戦略的提携/新事業パイプラインの拡充
- 新半世紀方針策定、全経営機能の刷新



▽基本方針

■新たな注射剤を軸に重点疾患領域を拡大する。

がんの診断/造影剤から、がんの治療/抗がん剤、造血剤、制吐剤、麻薬などのへ対象領域を大幅に拡げます。D&D抗がん剤、DDS抗がん剤
バイオ後続品G-CSFなど注射剤の大型製剤を軸に、急性期医療における競争優位な成長基盤を構築します。

■女性医療のリーディング・カンパニーを確立する。

主力の不妊症をはじめ、月経困難症、子宮内膜症、更年期障害、避妊などへ継続的にホルモン剤新薬を補うなど産婦人科ホルモン療法の更なるサポート充実を図ります。戦略品：月経困難症新薬と経口避妊GE薬で女性医療への貢献度をさらに上げます。

■次の半世紀へ向け新たな経営体制を構築する。

次の半世紀へ向け、まずは売上500億円を睨んだ提携、新事業と新戦略品の太いパイプライン、海外進出を具体化します。
自律的、永続的な成長をテーマとして、2014年度までに新半世紀方針策定
新たな事業運営体制を構築します。



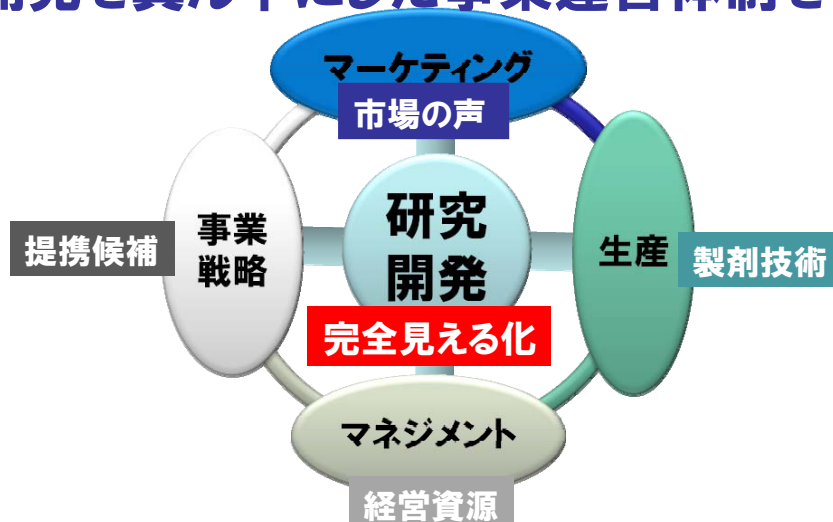
▽基本戦略

- 研究開発を真ん中にした事業運営体制を構築する。
- 戦略疾患領域における営業のプレゼンスを確立する。
- 三極GMPモデルとなる高活性医薬品工場を完成する。
- 次世代人材パイプライン強化、経営体制を刷新する。



▽基本戦略

- ①研究開発を真ん中にした事業運営体制を構築する。

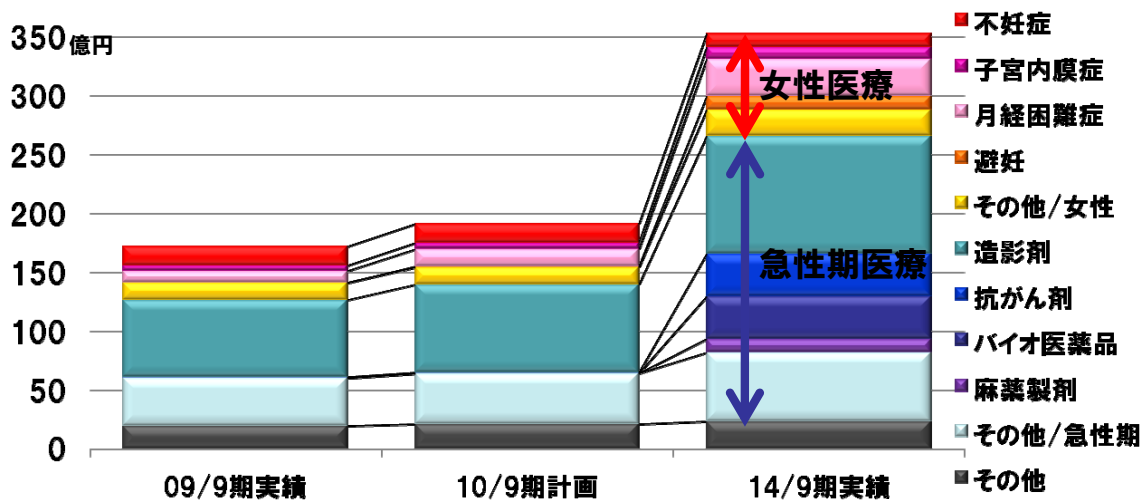


経営＝開発体制の構築、2015年～パイプライン候補、現行パイプラインの進捗予実の全社共有、各機能&研究開発共同プロジェクト遂行、全会議体における研究開発関連テーマの設定など、研究開発を軸にした事業運営体制を整備し、中長期の戦略パイプラインの充実を図ります。



▽基本戦略

②戦略疾患領域における営業のプレゼンスを確立する。



抗がん剤、造血剤、女性ホルモン剤などの専門機能の拡充、営業支援システムの再構築、新たなプロモーションチャネルの活用など、戦略疾患領域の急性期医療と女性医療におけるマーケティング活動の質×量、戦略品のシェアの引上げを図ります。

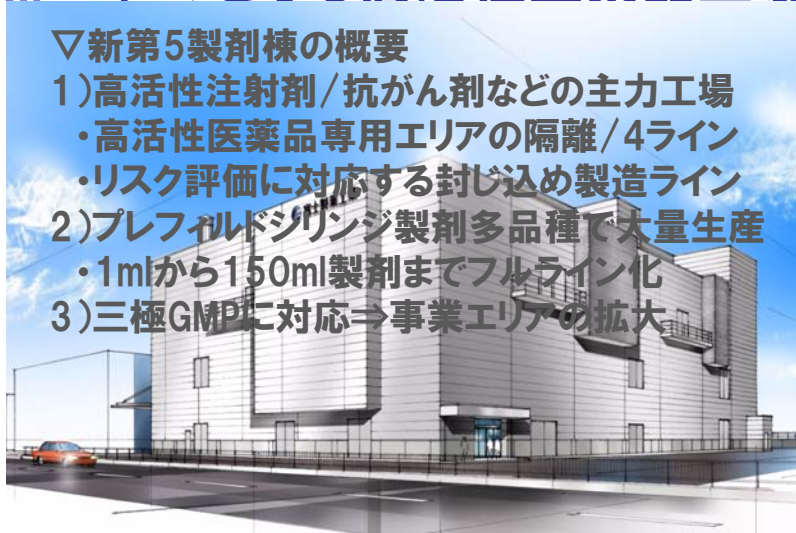


▽基本戦略

③三極GMPモデルとなる高活性医薬品工場を完成する。

▽新第5製剤棟の概要

- 1) 高活性注射剤/抗がん剤などの主力工場
 - ・高活性医薬品専用エリアの隔離/4ライン
 - ・リスク評価に対応する封じ込め製造ライン
- 2) プレフィルドシリンジ製剤多品種で大量生産
 - ・1mlから150ml製剤までフルライン化
- 3) 三極GMPに対応→事業エリアの拡大



既存の高活性製剤/ホルモン剤工場のフル稼動と併せて、新たに高活性製剤/抗がん剤などの注射剤工場を2011年に立上げ、全ての高活性製剤が供給可能な体制を構築します。事業エリアの拡大を睨み、三極GMPのモデルとなる高活性製剤工場の完成を目指します。



▽基本戦略

④次世代人材パイプライン強化、経営体制を刷新する。



会社経営・事業開発の人材の選抜と育成、獲得、次世代による2015ーコア事業拡大と新規事業立上げ具体化の策定、執行責任の次世代へのシフト提携企業との関係強化/人材交流など、次の半世紀へ向けた人材パイプラインの充実、新たな意思決定と執行体制の構築を図ります。



▽50期・14/9期事業目標

	09/9期 実績	10/9期 計画	14/9期 計画
百万円 売上高	17,198	19,100	35,000
経常利益	2,477	2,740	7,000
当期純利益	1,525	1,680	4,300
ROA 総資産経常利益率	11.5%	11.6%	>15%
研究開発費	918	1,419	3,000
設備投資額	1,372	1,977	<u>9,600</u> 10/9-14/9期合計
配当性向	20.2%	19.9%	30%



本日は、お忙しい中、ご来場頂き、誠にありがとうございました。



＜お問い合わせ先＞

管理部マネージャー 上出 豊幸

東京都千代田区紀尾井町3番19号

TEL : 03-3556-3344

FAX : 03-3556-4455

Email: toyoyuki_kamide@fujipharma.jp

URL : <http://www.fujipharma.jp>